

2019年1月15日

1棟オフィスビルをシェアハウスに改装 「練馬okeikoちゃん家」オープン Rバンクが提案する不動産再生プロジェクト

京急グループの株式会社Rバンク（本社：東京都渋谷区，社長：本多 利明，以下 Rバンク）は女性専用シェアハウス 59 棟目となる、「練馬 okeiko ちゃん家（ねりまおけいこちゃんち）」（以下 本物件）のコーディネートを行い、株式会社ムゲンエステート（本社：東京都中央区，社長：藤田 進一）保有の1棟オフィスビルをシェアハウスに改装いたしました。また、本施設の工事完了に伴いまして、シェアメイト入居前の2019年1月22日（火）に見学会を開催いたします。

本物件が、空ビルになってから建て替えや有効活用含め検討をした結果、Rバンクのシェアハウスにご興味を頂き、今回のプロジェクトが実現しました。新築時の図面や検査済証の保管がしっかりなされていたこと、メンテナンス状況が良好であったことなど、コンバージョンの条件が整っていたこともプロジェクトの推進の大きな要因です。

急速にお洒落で便利に発展しながら、下町の店も見え隠れするターミナル駅「練馬」から徒歩8分に位置し、壁や階段など既存建物の温かな名残をとどめつつも、設備は新しく、快適に暮らしていただける、16室の中規模女性専用シェアハウスへと蘇りました。屋上は開放しており、周辺に高い建物も無く、広い景色を望む事ができます。

また大きな特徴として、2階の広い多目的室を「おけいこルーム」と名付け、ヨガや写経、ネイルアートなど、女性の「おけいこ」をサポートするツールをご用意しています。女性の生き生きとした生活を支えるというコンセプトで「練馬 okeiko ちゃん家」というネーミングをつけております。

Rバンクでは、他用途であった既存建築物を、住居と多用途の混合するコンバージョン（用途変更）によって、付加価値を高める再生が実現できるものと考え、9年前から積極的に取り組んでまいりました。今後も本件のようなプロジェクトに関わることで既存建築物活用の有効性を実証していく予定です。詳細は別紙のとおりです。



「練馬 okeiko ちゃん家」シェアハウス内の様子（2018年12月撮影）

別紙

「練馬 okeiko ちゃん家」について

1. 場所 東京都練馬区豊玉北

2. テーマ

株式会社ムゲンエステートが保有する1棟のオフィスビルを、壁や階段など既存建物の温かな名残をとどめつつも、設備は新しく、快適に暮らして頂ける、女性専用シェアハウスへと蘇らせました。屋上は開放しており、周辺に高い建物も無く、広い景色を望む事ができます。

今回のプロジェクトは、2階の広い多目的室を「おけいこルーム」と名付け、ヨガや写経、ネイルアートなど、女性の「おけいこ」をサポートするツールをご用意しています。

また、女性の生き生きとした生活を支えるというコンセプトで「練馬 okeiko ちゃん家」というネーミングをつけています。

3. オープン日 2019年1月5日(土)



参考

Rバンクについて

所在地：東京都渋谷区渋谷3-8-12

代表：本多 利明

設立：2006年8月

内容：リノベーション事業・不動産仲介事業・損害保険事業・住空間に関わるコンサルティング事業・不動産全般に関するコンサルティングコーディネート事業他

URL：<http://www.r-bank.co.jp>

※2018年4月から京急電鉄の子会社となりました。

Rバンクのシェアハウス「Rシェア」について

昨今、シェアハウス市場は急速に拡大しており、様々な形態のシェアハウスが誕生しています。そんな中、Rバンクでは女性専用シェアハウスを柱に現在43棟の管理運営を行い、毎年平均稼働率93%超を実現しています。

高い稼働率を保つことが出来るのは、『Rシェア』のブランド力に後押しされた「募集力」と良質な「管理」による入居期間の長さが決め手です。

実績を活かし、投資効率も視野に入れたコンサルティング、エリア特性、コミュニティ、入居者の視点に合ったデザインとゾーニングや、募集、清掃、管理は全て女性で行います。シェアハウスを59棟手掛けたRバンクだからこそ、入居者ニーズに合った企画・運営・管理を大切にしています。